

製品名: EB3 (3K10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10270**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:20-1:50
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPRE3
別名	EB3; EBF3; MAPRE3; RP/EB Family; RP3;
遺伝子 ID	22924.0
SwissProt ID	Q9UPY8
免疫原	ヒト EB3 の合成ペプチド

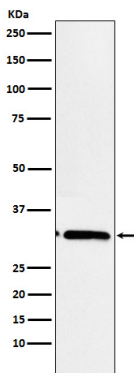
背景

微小管の重合および、微小管を安定化させ中心体に固定することで紡錘体機能に関与している可能性がある。細胞遊走にも関与している可能性がある。プラス端追跡タンパク質 (+TIP) は、微小管のプラス端に結合し、微小管細胞骨格の動態を制御する。微小管の成長を促進する。微小管を安定化させ中心体に固定することで紡錘体機能に関与している可能性がある。また、マイナス端微小管の組織化の調節因子としても機能し、AKAP9 と PDE4DIP によって形成される複合体と相互作用し、CAMSAP2 をゴルジ体へリクルートすることで、中心体外のマイナス端微小管をゴルジ体に固定する。これは極性細胞運動の重要なステップである (PubMed:28814570) 。 CAMSAP2 修飾微小管のマイナス端における伸長を促進する (PubMed:28814570) 。細胞移動に関与する可能性がある (類似性に基づく) 。

研究分野

-

画像データ



ラット筋肉細胞溶解物中の EB3 発現のウエスタンブロット分析。